



館内での
チケット販売は
ございません。

フランス映画を作った女性監督たち ——放浪と抵抗の軌跡

VAGABONDES : CINEASTES ET FRANCAISES

Histoire décadrée du cinéma français des pionnières aux nouvelles venues

2022年3月15日(火) — 3月27日(日)

会期中の休館日: 月曜日

主催: 国立映画アーカイブ

特別協力/企画・上映パートナー:

アンスティチュ・フランセ日本、シネマテーク・フランセーズ

特別協力: アンスティチュ・フランセ パリ本部

INSTITUT
FRANÇAIS
アンスティチュ・フランセ日本
Japan

LA
CINEMATHEQUE
FRANÇAISE

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応のため、定員は国立映画アーカイブのHPにてご案内します。会期、上映スケジュールおよび前売指定席券の発売日変更等の場合もHPでお知らせします。

* マスク着用のない方の入館をお断りします。

* 来館者全員に検温を行います。37.5℃以上の方は入館をお断りします。



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

新型コロナウイルス感染拡大防止のため

チケットは前売指定席券のみです。
障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方も前売指定席券をお求めください。

国立映画アーカイブ [2階]

長瀬記念ホール OZU

各回の開映後の入場はできません。

前売指定席券

3月8日(火)以降、毎週火曜日10:00amより、チケットぴあにて週週(火~日)上映回の前売指定席券(全席指定席)を販売します(発売日変更等の場合はHPでお知らせします)。

[Pコード: 551-949]

前売料金 *別途手数料がかかります。

一般: 520円 / 高校・大学生: 65歳以上: 310円 / 小・中学生: 100円 / 障害者(付添者は原則1名まで)・キャンパスメンバーズ・未就学児: 無料

♪生伴奏付上映の回

一般: 1,050円 / 高校・大学生・65歳以上: 840円 / 小・中学生: 600円 / 障害者(付添者は原則1名まで)・未就学児: 無料 / キャンパスメンバーズ(教職員): 500円 / キャンパスメンバーズ(学生): 400円

●料金区分の違う前売指定席券では入場できません。差額のお支払いで観覧することはできません。

●学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。

●購入方法や手数料の詳細は4頁をご覧ください。

下記に該当する方は購入をお控え願います。

新型コロナウイルス感染症について

- 陽性判定、あるいは医師に自宅待機指示を受けている方
- 検査結果待ち、あるいは体調不良の諸症状がある方
- ご自身の身近に感染の疑いがある方
- 過去14日間以内に、陽性の方と濃厚接触がある方、感染が拡大している国・地域への訪問歴がある方

入場方法

- 前売指定席券は来館前に必ず発券をお願いします。
- 開場は開映30分前です。
- 各回の開映後の入場はできません。

表紙画像: 『冬の旅』撮影スナップ(ボネールとヴァルダ) ©Ciné-Tamaris

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。
上映会番号448

5 3/20(日)12:00pm 3/25(金)4:00pm

二重の愛(107分・DCP・無声・染色)CF

Le Double Amour

ジャン・エブシュタインがアルバトロス社で撮った3作目の長篇で、愛する男のために犠牲となった女性(リセンコ)の苦難を、精巧な室内美術とともに格調高く描いたメロドラマ。ジャンの妹のマーリー・エブシュタイン(1899-1995)によるオリジナル脚本で、彼女は兄の監督作での脚本の他、J・Pノワレヴィとの数々の協働でも知られる。シネマテーク・フランセーズによる染色復元版での上映。

*上映素材には収録された伴奏音楽がついています。

1925(フランス:フィルム・アルバトロス)◎ジャン・エブシュタイン◎マーリー・エブシュタイン◎モーリス・デファシオ◎ピエール・ケフェール◎ナタリー・リセンコ、ジャン・アンジェロ、ピエール・パチーフ、カミュ・バルドゥ
This film has been restored by la Cinémathèque française.

6 3/16(水)3:00pm 3/20(日)3:00pm

美しき青春(109分・35mm・白黒) Hélène

グルノーブル大学で医学を学ぶエレヌ(ルノー)を中心に、恵まれない境遇にあっても勉学に励む若者を、虚飾を排したリアリズムで描く。M・エブシュタインとPノワレヴィの共同監督作には、本作や『母の手』(1933)など、困難に直面し奮闘する若い女性に焦点を当てた作品も多い。M・エブシュタインは、戦後はシネマテーク・フランセーズで映画保存に尽力した。

1936(フランス:レ・フィルム・マルキーズ)◎◎マーリー・エブシュタイン、ジャン・Pノワレヴィ◎ウィッキー・パウム◎レオナス・アンリ・ビュレル◎リュシアン・カレ◎マルセル・ラテ◎マドレーヌ・ルノー、ジャン＝ルイ・パロー、コンスタン・レミー

7 3/22(火)3:00pm 3/27(日)12:00pm

パリ1900年(83分・Blu-ray・白黒)

Paris 1900

ジャーナリスト出身のニコル・ヴェドレス(1911-1965)が1900年から1914年までのパリを捉えた約700本の記録・劇映画を編集し、ナレーションなども用いて当時の人々の生と戦争への予感を描き出した記録映画。クリス・マルケルが激賞し、アンドレ・バザンも「小説におけるブルーノに匹敵する」とその革新性を評した。記録映画『海藻』(1947)などで知られる女性監督ヤニック・ペロンも編集補として参加している。

1947(フランス:パンテオン・プロデュクシオン)◎◎解説台本◎ニコル・ヴェドレス◎ピエール・ブロンベルジュ◎監督アラン・レネ◎編集ミリアム・ボルスツキ◎ギイ・ベルナル◎クロード・ドーファン

8 3/18(金)6:20pm 3/27(日)2:30pm

オリヴィア(96分・DCP・白黒) Olivia

女子寄宿学校を舞台に、女性教師(フィエル)に恋心を抱く生徒(オリヴィア)を描く。同性愛を正面から描いた先駆的な作品。戦後から1950年代にかけて商業的に成功したフランスで唯一の女性監督とされるジャクリーヌ・オードリー(1908-1977)は、撮影所でスクリーン・アシスタントとして働き、監督の代理で現場を任せられるようになって監督への道が開けた。小説家コレットの作品を原作とした監督作も多い。日本では1952年に『處女オリヴィア』として公開。2019年作製の復元版での上映。

1951(フランス:メノン・フィルム)◎◎ジャクリーヌ・オードリー◎ドロー・ビュシー◎コレット・オードリー、ピエール・ラロッシュ◎クリスチャン・マトラ◎ジャン・ドボンヌ◎ピエール・サンカン◎マーリー・クレール・オリヴィア、エドヴィジュ・フィエル、シモーヌ・シモン

9 3/17(木)3:00pm 3/27(日)5:00pm

シメオン(110分・35mm・カラー) Siméon

10歳のとき映画に黒人が登場しないことに違和感を持ち、映画監督を志したと語るユーザン・パルシー(1958-)は、『白く濁った季節』(1989)でハリウッド・メジャー初の黒人女性監督となった。本作は故郷でもあるフランス領アンティル諸島を舞台に、靈魂となって蘇った音楽教師シメオン(デュヴェルジェ)とその弟子たちが、地元発祥の音楽であるズークを世界に広めようと奮闘する姿を描いた音楽映画。

1992(フランス:サリニャ・プロデュクシオン=フランス2シネマ=クラブ・ダンヴェスティモン・メディア=キャナル・プラス)◎◎ユーザン・パルシー◎ジャン＝ピエール・リュモ◎フィリップ・ヴェルト◎ベルナル・ヴェザ◎カッサヴ、ブリュノ・クーレ◎ジャン＝クロード・デュヴェルジェ、ジャコブ・デヴァリュ、ジョスリーヌ・ペロアル

放浪する女性たち

『冬の旅』のようにあてのない旅をしたり、『ジャンヌ・モローの思春期』のように精神的に揺れ動いたりするなかで、男性の支配や規範に抗い、または逃れ出ようとする人々を描いた作品や、『奥様は妊娠中』のようにフィクション、ドキュメンタリーといった枠から離れ、自らの依って立つところを自ら作り出そうとしている作品などを上映する。女性監督が既存の基盤から離れて放浪のテーマを扱うとき、各々の作品で何が賭けられているのだろうか。

10 3/16(水)6:20pm 3/26(土)12:00pm

ジャンヌ・モローの思春期

(94分・35mm・カラー)

L'Adolescente

第二次世界大戦直前のフランス。12歳のマーリー(シヴォー)は、祖母(シニョレ)が住むフランス南部の小さな村で夏休みを過ごす。奔放で官能的な役柄で世界の映画ファンを魅了した女優ジャンヌ・モロー(1928-2017)の監督第2作。自然豊かな田舎を舞台に繰り広げられる様々な形の生と死が、自然と人間をつなぐ神秘的な営みとしてマーリーの視点から捉えられ、思春期を迎えた少女が抱く動揺と大人への憧れが瑞々しく描き出される。

1979(フランス=西ドイツ:カルタゴ・フィルム=ヤヌス・フィルム)◎◎ジャンヌ・モロー◎アンリエット・ジェリネック◎ピエール・ゴタル、シルベール・デュアルド◎ノエル・ギャラン◎フィリップ・サルド◎レティシア・シヴォー、シモーヌ・シニョレ、フランシス・ユステール

11 3/26(土)3:00pm

冬の旅(105分・DCP・カラー) Sans toit ni loi

冬の南仏を放浪した18歳の少女モナ(ボネール)の最後の日々を、出会った人々の証言によって綴る。無関心や暴力、さらに飢えや寒さに直面するも、彼女は自由を望んで孤独を選んだ道を突き進んだ。ヴェネツィア国際映画祭金獅子賞受賞作品。アニエス・ヴァルダ(1928-2019)は、ヌーヴェルヴァーグの先駆となった『ラ・ボワント・クルト』(1955)でデビュー以来、60年以上にわたって活躍し、2017年にアカデミー名誉賞を贈られた。

上映協力:ザジフィルムズ

1985(フランス:シネ・タマリス)◎◎アニエス・ヴァルダ◎パトリック・プロシェ◎ジャン・パウアー、アン・ヴィオレ◎ヨアン・ブルズドヴィチュ◎サンドリーヌ・ボネール、マーシャ・メリル、ステファン・ブレイス、ヨランド・モロー

12 3/17(木)6:10pm 3/23(水)3:00pm

グッバイ・ファーストラブ

(110分・DCP・カラー)

Un amour de jeunesse

俳優や映画批評家として活躍し、短篇の監督を経て『すべてが許される』(2007)で長篇監督デビューしたミア・ハンセン＝ラヴ(1981-)の長篇3作目。15歳のカミーユ(クレトン)は初恋の人シュリヴァン(ウルゼンドフスキー)との別れに絶望し、命を絶とうとまでする。4年後、カミーユは建築を学びながら、他者や外部の世界との繋がりを築き始めていた。女性が自分の人生を見出すまでを描き出した名篇。

上映協力:マーメイドフィルム

2011(フランス=ドイツ:レ・フィルム・ベラス＝レイザー・フィルムズ)◎◎ミア・ハンセン＝ラヴ◎ステファン・フォンテーヌ◎マチュ・ムニョ◎パスカル・マイヤー◎ローラ・クレトン、セバスティアン・ウルゼンドフスキー、マーニユ＝ハーヴァード・ブレック

13 3/18(金)3:00pm 3/22(火)6:00pm

ガールフッド(113分・Blu-ray・カラー・日本語字幕/英語字幕付 with English subtitles)

Bande de filles

16歳のマリエム(トゥーレ)は3人の少女との出会いをきっかけに今までとは違う自分になろうとする。『燃ゆる女の肖像』(2019)がカンヌ国際映画祭で2冠に輝き、世界的に注目を集めるセリーヌ・シアマ(1978-)の長篇第3作。前2作で自伝的な要素を盛り込み、思春期におけるジェンダーとアイデンティティを題材として取り上げたシアマが、緩急を効かせた演出によって思春期の少女の悩みと衝動、解放感を描き出した青春映画。

上映協力:グッチーズ・フリースクール

2014(フランス:ホールダアップ・フィルムズ)◎◎マリエム・フィルム＝アルテ、フランス・シネマ◎◎セリーヌ・シアマ◎クリステル・フルニエ◎トマ・グレゾ◎バラ・ワン◎カリジャ・トゥーレ、アッサ・シーラ、リンゼイ・カラモウ

14 3/15(火)6:10pm

奥様は妊娠中(101分・Blu-ray・カラー)

Énorme

フレデリック(コーエン)は、妻クレール(フォイス)のキャリアのために子供を持たないことに合意していたが…。男女の役割が入れ替わったような夫婦が妊娠と出産に右往左往する姿を軽快なテンポで描いたコメディ。ソフィー・ルトゥルヌール(1978-)は、ドキュメンタリー、実験映画などで培った方法論を生かして独創的な映画製作を行い、本作で若手監督に贈られるジャン・ヴィゴ賞を受賞した。

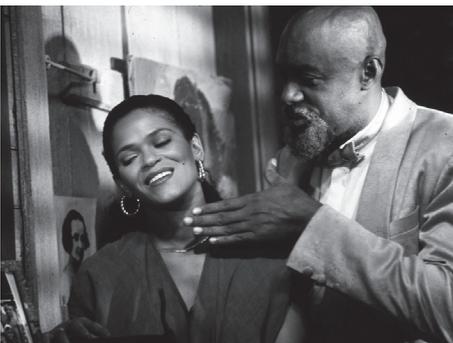
2020(フランス:アヴニュー・B・プロデュクシオン=ヴィト・フィルム)◎◎ソフィー・ルトゥルヌール◎マチアス・ガヴァリー◎ローラン・ブリュネ、エミリー・モニエ◎ブリュノ・フォンテーヌ、ピエール＝オリヴィエ・シュミット、フランソワ・ラバルト◎マリナ・フォイス、ジョナタン・コーエン



美しき青春



オリヴィア



シメオン © 1992 Moune Jamet_JMJ International Pictures

シアター・イメージフォーラムにて近日上映!

マティ・ディオップ特集 越境する夢

長篇監督デビュー作『アトランティック』で黒人女性として初めて2019年カンヌ国際映画祭にてグランプリを受賞した、フランス生まれでセネガルにルーツを持つマティ・ディオップを巡る特集を開催します。会期:2022年4月23日(土)~5月6日(金)

会場:シアター・イメージフォーラム

主催:アンスティチュ・フランセ日本

シアター・イメージフォーラム

問い合わせ先:シアター・イメージフォーラム

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-10-2

TEL:(03)5766-0114

https://www.imageforum.co.jp/theatre/

フランス映画を作った女性監督たち—放浪と抵抗の軌跡

VAGABONDES : CINEASTES ET FRANCAISES
Histoire décaquée du cinéma français des pionnières aux nouvelles venues

月	火	水	木	金	土	日	
3月	14	15	16	17	18	19	20
	1	6	9	13	2	5	
	14	10	12	8	4		
	7	12	3	5	11	8	
	13	2	4	1		9	

- 開場は開映30分前です。
- 各回の開映後の入場はできません。
- 各日11:00amに開館します。
- チケットは前売指定席券のみです。館内でのチケット販売・発券はありません。

生伴奏付上映出演者

湯浅ジョウイチ (ゆあさ・じょういち) / 作曲・編曲、ギター
1987年、東京国際映画祭でグリフィス監督の「国民の創生」の楽士を務めて以来、無声映画期音楽の復元・作／編曲を行い、後に和洋楽団カラード・モノトーンを結成。当時の再現演奏ができる唯一の楽士。日仏連携イベント「ジャポニスム2018」をはじめ欧米への招聘も受け積極的に活動している。



鈴木真紀子 (すずき・まきこ) / フルート
桐朋学園大学音楽学部卒業。フルートを峰岸壯一氏に師事。卒業後、無声映画専門和洋楽団カラード・モノトーンのメンバーとして活動。「ジャポニスム2018」では、パリを始め四都市での公演を大成功に収め、帰国後、楽長の湯浅氏と共に総理官邸での感謝の集いに招聘。



展示室 (7階)

企画展 常設展「NFAJコレクション」のみならず、日本映画の歴史も併設されています。

MONDO

映画ポスターアートの最前線

MONDO: The Front Runner of Film Poster Art
2021年12月7日(火) — 2022年3月27日(日)
* 月曜日および3月8日(火) — 3月13日(日)は休室です。
主催: 国立映画アーカイブ、京都国立近代美術館
特別協力: MONDO

アメリカ、テキサス州オースティンを本拠に、鋭い感性を持つデザイナーやイラストレーターに委嘱した新旧映画作品のポスターを独自に制作、宣伝とは一線を画した「オルタナティブ・ポスター」の先駆として各国に熱狂的なファンを持つMONDOの魅力をも、71点のポスターで紹介いたします。
* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。

開室時間=午前11時—午後6時30分(入室は午後6時まで)
料金(常設展・関連企画共通)=一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上・高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料
*()内は20名以上の団体料金です。
* 学生、65歳以上、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
* 国立映画アーカイブの上映観覧券(鑑賞後の半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金も適用されます。

NFAJ Digital Gallery NFAJ デジタル展示室 Digital Gallery
下記ホームページからお入りください
<https://www.nfaj.go.jp/online-service/digital-gallery>

前売指定席券の購入方法

[Pコード:551-949]
3月8日(火)以降、毎週火曜日10:00amより翌週(火~日)上映回分を販売
チケットぴあサイト <https://w.pia.jp/t/nfaj-france/>

セブン-イレブン(店頭マルチコピー機)で購入
▶各回の上映1時間前まで
チケットぴあのサイトで購入
▶購入時期によってご利用可能な決済方法が異なります。上映当日は、クレジットカードまたはちょコム決済で各回の上映1時間前まで購入が可能です。
⇒決済方法によって1件につき決済手数料がかかる場合があります。
* 前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円がかかります。
* 必ず発券してからご来館ください。
* セブン-イレブンでの購入では座席選択ができません。全体的に散らばるよう自動で割り振られます。
* 手数料等の詳細や購入方法に関する最新情報については、チケットぴあのサイト <https://t.pia.jp/> をご覧ください。
* 本前売指定席券購入に、システム利用料はかかりません。

1階受付では、「NFAJ ニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟 (FIAF) の正会員です。
FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。




国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
▼交通:
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分
* 上映をご覧になるお客様へ。チケットをお持ちのお客様も、開映後の入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600
ホームページ: www.nfaj.go.jp
Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR
Instagram: nationalfilmarchiveofjapan